３：模擬問題

　問６：次の記述中( a )に入れる正しい答えを解答群の中から選べ。

関数 MatchCounter は、長さが Textlen の文字列 SourceText の中で、長さが Patlen の文字列 Pattern と一致する部分文字列の出現回数を、以下の手順で数える。

* 1. 一致する部分文字列の出現回数を数える変数 Counter の値を 0 に初期化する。
  2. SourceText の比較開始位置を先頭から順に 1 文字ずつ後ろにずらしながら、その比較開始位置から始まる長さ Patlen の文字列と Pattern が一致するかどうかを調べ、一致したら出現回数 Counter の値に 1 を加算する。
  3. Counter の値を返す。

　ここで、 0 < Patlen ≦ Textlen であり、配列の添字は 0 から始まる。プログラム中の( a )に入る正しい答えを、解答群の中から選べ。

[プログラム]

◯整数型: MatchCounter(文字型の配列: SourceText,

整数型: Textlen,文字型の配列: Pattern, 整数型: Patlen)

　整数型: Counter, i, j, k

論理型: Matchflg

Counter ← 0

i ← 0

while ( ( a ) )

j ← i

k ← 0

Matchflg ← true

while (k が Patlen より小さく かつ Matchflg が true)

if ( SourceText[j] と Pattern[k] が等しい)

j ← j + 1

k ← k + 1

else

Matchflg ← false

endif

endwhile

解答群

ア　i と Patlen の和が Textlen 以下

イ　i と Patlen の和が Textlen より小さい

ウ　i と Textlen の和が Patlen 以下

エ　i と Textlen の和が Patlen より小さい

if (k が Patlen と等しい)

Counter ← Counter + 1

endif

i ← i + 1

endwhile

return Counter